



KUMAMOTO



2016年3月号

国際会長主題	「信念のあるミッション（使命・目標）」 "Mission with Faith"	Wichian Boonmapajorn (Thailand)
スローガン	「恵みを数えよう」 "Count Your Blessing"	
アジア地域会長主題	「愛をもって奉仕をしよう」 "Through Love, Serve"	Edward K.W. Ong (Singapore)
スローガン	「まず自分から始めよう」 "Let it Begin with Me."	
西日本区理事主題	「あなたならできる！きっとできる」 "You can do it ! Yes,you can !" - 生きる しなやかに さわやかに - "Live flexibly and refreshingly"	遠藤 通寛 (大阪泉北)
九州部長主題	「九州から輝くワイズダム」	五嶋 義行 (阿蘇)

熊本クラブ会長主題 人間のいのちの持つ可能性を追求しよう！

Let's pursue the possibilities of human life !

堤 弘雄

強調月間

JWF

JWFは皆様のご厚意によって支えられています。個人やクラブの記念にあわせて献金をお願いいたします。

JWF管理委員長 高瀬 稔彦 (岩国西)

会長メッセージ

桜花のごとく

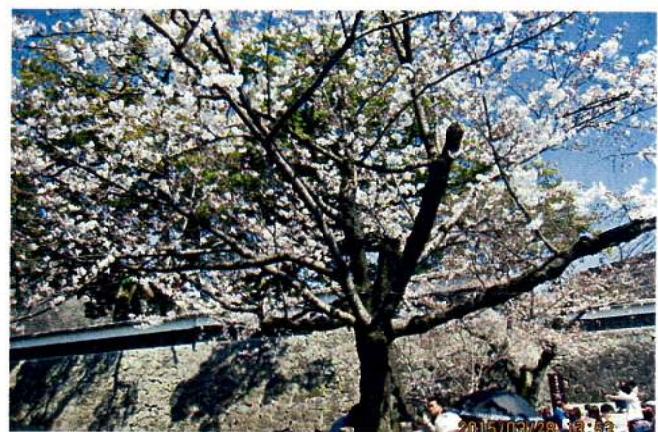
堤 弘雄

桜の季節となりました。後に散り去る桜であるがゆえに咲き誇る一瞬を大切にめでたいものです。

思えば、私たちの人生も同じようなものかもしれません。一生という限られた時間の中でできるだけ人を幸せにできる花として咲き続けたいものです。

さて、熊本ワイズの会長としての役割をいただいて9か月が経過し、あと3か月を残すところとなりました。次期会長に木山彌子さんが選ばれ、3月12～13日に大阪で行われた西日本区会長・主査研修に参加されました。4月末には新しい役員体制を西日本区に連絡する必要があります。木山次期会長を支える意味で皆様の協力を宜しくお願ひいたします。

限りある人生の時間の中で歴史ある熊本ワイズのメンバーとして神と人に仕え、良き交わりをしながら共に素敵な花をさかせて参りましょう。



* 昨年の熊本城の桜 (櫓方門前)

【今月の聖句】

「ありのままの自分を受け入れることができれば、どんな悪口もあなたを傷つけることができないし、どんな称賛もあなたを思い上がることができません。」 マザー・テレサ

先月に引き続き、マザー・テレサのことばです。

弱さや欠点を抱えた自分を、かけがえのない大切な自分として受け入れている人は、自分の欠点を指摘されても、笑顔でそんな自分が好きと答えることができます。

理想の自分にしがみつこうとしている人は、お世辞を言われると思い上がってしまいます。弱くて不完全な自分を、それでもかけがえのない大切な存在して受け入れたひとは、悪口によって傷つけられることも、お世辞を言われて思い上がるかもしれません。どんなときでも、ありのままの自分を、自然体で生きることができるのです。

(「世界で一番たいせつなあなたへ」 片柳弘史神父著 より抜粋)

(藤川 登士郎)

2月 TOF 例会報告

大 村 豊



日中は暖かでしたが、夕方は少し肌寒く感じる2月の第4木曜日に、例会がもたれました。

堤会長は、その前日ミャンマーから福岡空港に帰国したばかりということで、彼の地の「ヌーヌーちゃん」の孤児院での活動の様子などの報告がありました。卓話は、松生由紀子（まついけゆきこ）様による「フェアトレード」「スリランカコーヒー」のお話しと、福島ワイズの「きょうされん全国大会熊本開催について」のお話しでした。



前者は、スリランカ（紅茶の国セイロン）の高原地帯の涼しいところでコーヒー栽培をはじめしたことなどの紹介がスライドを使ってわかりやすくすみました。

フェアトレードは、公正な取引（貿易）という意味ですが、かつて19世紀の後半ころまでコーヒーの生産量が世界第3位であったのが、殆ど紅茶に変わってしまうという歴史があり、「コーヒーをもう一度プロジェクト」によりその生産が復活するという過程の現在進行形のお話しです。

熊本市の日本フェアトレード委員会のコーヒーは、毎月、続ワイズが例会で販売している品物ですから、少しづつでも出来るだけの協力をしましょうという気持になりました。



福島ワイズからは、衝撃的な福島の居住制限区域のスライドによる最近の様子の紹介から始まりました。

「きょうされん」は、元の名称が「協同作業所全国連絡会」というもので、きょうされん熊本支部は、2001年に発足し、現在県内の68事業所が加盟するまでに発展してきて、障害者福祉のための様々な運動を展開しているそうです。

今年の全国大会が熊本で、10月22～23日に県立劇場などで開催されるということで、ボランティア活動のお願いや寄付のお願いもありました。福島ワイズが忙しい日々を送っていることもよく理解できました。

2月はタイムオブファスト（TOF）の月ですが、おいしいオムライス（量は少ない）を味わうことができました。

二次会では、少し食べ過ぎてしまいました。人生、反省することばかりです。

例会スナップ



«Happy birthday, Happy anniversary»



«DBC交流（京都グローバル）へのお誘い！»



«ご参加いただきましたビジターの皆様»

ミャンマーモガウン YMCA

エイズ孤児のための孤児院を訪ねて

鮫島 和枝

2月18日～24日まで孤児院を訪ねる旅に参加させていただき、とても有意義な旅でした。初めての国で少し不安もありましたが6人の皆様に支えられ感謝。孤児院では記念式典や会食、現地のスタッフの暖かいおもてなしを受け感動しました。11人の孤児院の子供たちとの交流もでき、楽しい思いでとなりました。

電気はあるが土間で火を起こして食事を作り、井戸水を使う日本では考えられない生活をこの目でみて今後も支援すべきだと思いました。



お花見のご案内

◇ 4月2日（土） 熊本城 横方門付近
¥2,000ほど !ご参加ください!

吉本 貞一郎

熊本 YMCA とともにに行っている日韓視覚障がい青少年交流、25 年程前の歓迎会の折、YMCA を代表して山中大吉 Ys (熊本 Y 理事長) が歓迎の言葉を述べた。参加していた韓国大邱光明学校の生徒から「おーっ。」と感嘆する声が漏れた。それほど山中 Ys のハングルが素晴らしいのである。山中 Ys は弁護士。終戦前は京城に住み、京城 YMCA の理事を務めている。

また、渡邊俊子 Ys から夫の正一 Ys のことを聞いたことがある。渡邊正一 Ys は、日本語・韓国語・英語と喋れたので在韓の米軍政府から通訳を依頼され日本への帰国が遅れたそうである。

さらに、熊本白川教会で堀原信一主事の活動を知った。京城 YMCA 総主事代行として在留邦人へ京城日本人世話会として奉仕されている。堀原氏は、熊本ひがしきラブ堀原園江メネットの父上である。

何かの縁か、熊本 YMCA の設立には、外地から引揚げた多くの Y 関係者が尽力している。初代主事渕田多穂理は北京 YMCA の会員であり、熊本ワイズの初代会長 本田 凌は北京聯青社の会員であった。あまり、話題とならないが、熊本 YMCA には外地の流れをくむ部分もあるのではないだろうか。

京城 YMCA 堀原信一 山中大吉

朝鮮統治において重要視されたのは「教育」と「統治」であった。1907 年ソウルに京城 YMCA が設立された。從来からある皇城 YMCA といろんな軋轢はあったが日本の敗戦という状況下にありながら京城 YMCA の職員であった堀原はソウルに残された日本人の為に「刑務所慰問」「帰還援助」を惜しみなく行った。京城 YMCA の理事であり弁護士であった山中は残された子弟の教育に尽力を尽くした。(浦橋勝信氏の記述より引用)

聞きかじりの知識であり事実誤認の事柄も多々あると思いますが、敗戦の時は北朝鮮に 30 万人、韓国に 50 万人の日本人がいて、その方々の日本への帰還事業に YMCA やそのスタッフが尽力していることは間違いないと考えます。日本国内では、1946 ~1950 年に齋藤惣一が YMCA を休職して引揚援護庁長官として 625 万人の在外抑留者の帰還事業を行っています。その後、日本 YMCA 同盟総主事に復帰されています。しかし、現地にとどまって事業をサポートした YMCA 会員やスタッフも心に留めておきたいものです。

機会があれば、北九州 YMCA の浦橋勝信氏のお話を聞きたいものです。

*参照

熊本 YMCA50 年史、日本ワイズメン運動 70 年史
日本 YMCA 人物事典、日本人世話会帰還事業 資料、熊本白川教会月報、等

【Y M C A だより】

連絡主事 藤川 登士郎

☆ 黒川保育園献堂式

黒川保育園が新たに新築移転をし、3 月 22 日(火)に新園舎において献堂式が執り行われました。熊本 YMCA 福祉会理事の皆様、レイパースン、職員の他、建築に携わって頂いた方々、阿蘇市長をお招きし、日本福音ルーテル神水協会角本牧師の司式により厳かに行われ、その後、施設見学・昼食会が開かれ、新しい黒川保育園に大きな期待と夢がふくらむ素晴らしい日となりました。

☆ 会員交流デイキャンプ

3 月 21 日(祝月)に黒川保育園新園舎にて会員交流デイキャンプが行われました。今年のデイキャンプは、黒川保育園献堂式(竣工式)の前準備として、参加者のボランティアによる旧園舎から新園舎への引っ越しのお手伝い、その後、BBQ や記念植樹を行いました。また、その後、阿蘇 YMCA に移動して新トーテムポール完成セレモニーが盛大に行われました。

☆ 熊本 YMCA 大会

5 月 27 日(金)~29 日(日)の 3 日間で熊本 YMCA 大会が行われます。この大会は熊本 YMCA に関わる人々が相互理解と地域課題解決に向けた働きを確認することを目的として開催されます。

初日は礼拝・定期総会に始まり、2 日目は YYY フォーラム、講演会、日本語科学生による各種発表会、会員交流懇談会。3 日目はこれからまちづくりについての講演と分団協議が予定されています。興味や関心のあるところだけでもご参加可能です。

◇◆◇ ワイズ運営メモ スケジュール

月/日 (行 事)

3 月

24 日 EMC 例会
27 日 (イースター)

4 月

2 日 お花見 (熊本城)
2-3 日 DBC 交流 滋賀 雄琴温泉
14 日 事務例会
15 日 火の国フェスタ (セカンドサイト 5F)
28 日 例会

5 月

27-29 日 熊本 YMCA フェスティバル

6 月

25-26 日 第 19 回西日本区大会 (大阪市)

【編集後記】

桜の開花宣言が届きました。暖かくなつて、麦の背も伸び緑が濃くなつて、近くの河川敷は菜の花で黄色に輝いています。春本番です。また、「人生の扉」(曲:竹内まりや) が一つ開いたような! (吉本)

'15-'16 熊本ワイズメンズクラブ 3月事務例会記録 抜粋
日時：3月 10日(木)19:00～20:30 場所：熊本中央 YMCA 紫苑会室
出席：堤 木山 米倉 藤川 岡崎 岡崎 mmt 吉本 布田 大村 (出席 9名)

【協議事項】

1. 例会

- 1) 3月例会 3月 24日 (木) 19:00～21:00 熊本ホテルキャッスル EMC 例会 司会：布田 食前感謝：中川または廣石 卓話：老犬ホームについて（堤会長、詳細を確認） 準備、食事内容（通常通り） *ビジターを連れてきていただく。
- 2) 4月例会 4月 28日 (木) 19:00～21:00 熊本ホテルキャッスル YMCA サービス例会、スタッフ・リーダー・利用者等を招待。 司会・食前感謝：未定 卓話者：次回に検討。
- 3) 5月例会 5月 26日 (木) 19:00～21:00 熊本ホテルキャッスル 15-16年度 通常例会最終
- 4) 6月例会 6月 23日 19:00～21:00 熊本ホテルキャッスル *引継式

2. 西日本区・九州部

- 1) 各献金 Yサ・ユース￥2,000 CS￥1,500 TOF￥1,400 FF￥800 BF￥1,500 RBM￥800 YES￥200 東日本大震災復興支援基金 ￥1,200 3/15 期限 7月半年報入数 29人 総額：￥272,600 送金
- 2) 西日本区大会 (6/25-26) 松下 IPM ホテルニューオータニ大阪 登録：堤、吉本 登録者は堤会長まで ファンド販売等、検討
- 3) 九州部チャリティ駅伝 3/20 (益城運動公園) ボランティア募集

3. DBC 交流について (京都グローバルとの交流) 4月 2・3日 雄琴温泉

参加者：堤、岡崎 2、野口、大村、布田、森川（スピリット）合計 7名
*クラブより￥10,000 を支援する。その他の出費は後日検討を行う。

4. YMCA Yフェスティバル (5/27～29) 実行委員：大村 Ys
5/28 懇親会でワイズが、食事の提供。

5. 熊本連絡会議・第 20 回西日本区大会委員会での事項

前日のゴルフ（担当：大村）と初日の企画演出をにしクラブ等と検討。

6. ウェルネス お花見 4/2 熊本城櫻方門 担当：続 ビジターを誘う。

7. ブリテン原稿 3/19 (土) 必ず切

8. 次期クラブ役員および委員会構成について

会長：木山 彰子 副会長、書記、会計、メネット会長を早急に決定。
各委員会、ロースター原稿提出まで

9. その他、検討事項

- ① クラブファンドについて ② YMCA に寄贈の切手を買上げ、国際障がい者基金に入金。お札は YMCA ニュースに記載済み。

【報告事項】

1. 熊本連絡会議・区大会実行委員会 2. YMCA 3. その他

YMCA の歌

若人の あつきいのりは 百年の歴史をつづる
とこしえの のぞみにもえて さかえあり
YMCA われらまた こぞりて起たん



熊本 YMCA の歌

森の都の朝ぼらけ 有明波の凧ぐところ
み神の愛といさおしを 称えて集う若人の
心に響くときの声 目覚めて今ぞ 立ち上がり
YMCA こぞりここに

目的

ワイズメン、ワイズメネットは一個の理想主義者であることが求められております。
それには、何をおいても先ず YMCA に対する奉仕を旨とし、YMCA とのつながりを一層強め深めるための方向づけや活動方針、さらにはそのための具体的プログラムの策定など、クラブがそれぞれの地にあってこれらを実現し、献身奉ずることを心がけなければなりません。

みんなのものが一つとなってワイズダムの"きずな"をより強く結び、ともども YMCA 運動へ仕えることを願うものです。

- Our Motto -

"To acknowledge the duty that accompanies every right"

Today's program

2016年3月 24日 19:00～21:00

熊本ホテルキャッスル

3月 EMC 例会

進行：布田 Ys

開会宣言・点鐘

ワイズソング「いざたて」

会長挨拶

ゲスト紹介

ビジター紹介

Happy birthday & anniversary

食前感謝

(会食) 諸報告

卓話

「人と犬のいのちを結ぶ」

緒方 心 氏

(株) 老犬ホームトップ 代表取締役
日本老犬ホーム協会会長

ニコニコ・アピールタイム

YMCA の歌 / 熊本 YMCA の歌
閉会挨拶・点鐘

先月例会記録 (2016.2.25)

在籍会員	28
出席会員	9
功労会員	1
広義会員	1
マイキャップ	2
出席率	42.3%
ゲスト	2
ビジター	3
メネット	3
コメット	
例会出席総数	17
BF (プラザーフッドファンド)	
2015 年度献金 (現金)	送金済み
クラブファンド (ニコニコ)	
前月残高	102,469
2 月献金	10,560
2 月支出	0
2 月残高	113,029